

# 中学校第2学年 総合的な学習の時間 学習構想案

日 時：令和5年11月22日（水）第3・4校時  
 場 所：駐輪場及びピロティ、グラウンド他  
 （雨天時 駐輪場及びピロティ、特別教室他）  
 指導者：教諭 山口 邦仁子・2年部職員

## 1 単元構想

単元名	立志式と防災体験学習		
単元の目標	いろいろな職業とそれに関わる組織の取組と人々の思いや願い及び防災学習を通して、 (1) 立志式に興味・関心を持ち、一人の人間として自立を志すとともに、地域には、いろいろな働く場所やそれに関わる人々の思い(職場体験先や修学旅行宿泊先での防災意識を含む)や願いがあることに気付く。 (2) 生まれ育った地域の課題を防災の視点から見つけ、多様な方法で情報を収集、整理・分析し、学んだことを地域、保護者に広げることで、周囲の人たちと協力しよう(共助)と考える。 (3) これまでの自分の生活を振り返り、将来に対する自己の生き方を見つめるとともに、自分や周りの人々を災害から守るために行動する。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①立志式に興味・関心を持ち、地域の防災のための様々な取組とそれに携わる人々の思いがあることを理解している。 ②地域のよさや人々の思いをつかむために、目的に応じて情報を収集したりインタビューをしたりしている。	①地域の実態を防災の視点から見つめ、それに携わる人々の思いから、地域のよさや課題を明らかにしている。 ②地域の実態を捉えるために必要な情報について、手段を選択し多様な方法で収集している。 ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④地域の防災につながる取組について効果的に表現している。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。 ②防災について体験活動などを通して、他者の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ③地域の防災のために自分たちにできることを企画し、実行することを通して、積極的に社会に参画しようとしている。
<b>単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）</b>			
地域の防災に携わる人々の思いに気付き、地域のよさや課題、自分たちとの関わりについて考えるとともに、地域のためにできることを考え行動しようとする生徒			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
地域の防災や減災に対する人々の取組について調べ、自分にできることを考え、実行しよう。		防災に係る取組や人々の思いを多面的に捉え、他者と協力しながら自分がどのように関わっていくのか、自己の取組や生き方について考えること。	
<b>指導計画と評価計画（全9時間取扱い 本時 小単元③7. 8/9）</b>			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一次	2	1 【課題の設定】 ・立志の意味を理解し、地域を支える一人の人間として、自分たちにできることの予想を立てる。 ・課題として挙げたものについて、具体的に調べる計画を立てる。	★【思①】(ワークシート・発言・行動観察) ・地域の実態を防災の視点から見つめ、それに携わる人々の思いから、地域のよさや課題を明らかにしている。 【知①】(ワークシート・発言) ・立志式に興味・関心を持ち、地域の防災のための様々な取組とそれに携わる人々の思いがあることを理解している。
二次	1	2 【情報の収集】 ・グループの調査内容に応じて、職場体験や修学旅行先などで仕事をしながら地域の防災に携わる人々の話をまとめる。	★【知②】(ワークシート・発言・行動観察) ・地域の実態を捉えるために必要な情報について、手段を選択し多様な方法で収集している。 【思②】(発言・行動観察) ・地域の実態を捉えるために必要な情報につい

			て、手段を選択し多様な方法で収集している。 【態①】(ワークシート・発言・行動観察) ・課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意志で探究的な活動に取り組もうとしている。
三次	3	3 【整理・分析】 ・防災に携わる人々の思いや願いを踏まえ、地域の防災につながる具体的な取組を考え自分たちにできることをまとめる。 ・地域を支える一人の人間として、自分達が伝えたいことを考え、練り上げる。 ・防災食作りを自分たちが中心となって共同し進める計画をする。	【思③】(ワークシート・発言) ・課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ★【態②】(発言・行動観察) ・防災について体験活動などを通して、他者の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。
四次	2  1	4 【まとめ・表現】 ・これまでの活動のまとめとして、 <u>防災食作りを通して災害から身を守る方法を発信する。</u> (本時) 5 【振り返り】 ・活動を通して、自分たちにできることや、他の力を借りたい部分などを整理する。	★【思③,④】(ワークシート・発言・行動観察) ・課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ・地域の防災につながる取組について効果的に表現している。 ★【態③】(ワークシート・発言・行動観察) ・地域の防災のために自分たちにできることを企画し、実行することを通して、積極的に社会に参画しようとしている。

## 2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所 (内容・指導事項等)				
<p>中学校学習指導要領第1の目標を踏まえ設定された、本校の総合的な学習の時間の目標「主体的に判断し、安全なまちづくりに貢献できる生徒の育成」をもとに、探究課題「いろいろな職業とそれに関わる組織の取組と人々の思いや願い及び防災学習を通して共助意識を高める」を設定し、課題解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を設定し、単元を構成している。</p>				
教材・題材の価値				
<p>本教材は、地域の取組や関係する人々の思いをもとに地域のまちづくり、防災について調べ、地域のよさに気づいたり課題の解決方法を考えたりするとともに、自分たちがどのように地域に関わっていくのか、企画・実行することに適している。</p>				
本単元における系統				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>【1年(自助)】</b>地域の自然環境や環境問題とその保全に取り組む人々や組織及び防災学習を通して自助意識を高めよう。         </div>				
小単元①	小単元②	小単元③	小単元④	
職場体験学習を通して、望ましい勤労観や職業観を考え、共に助け合っていくためのスキル等を身につけよう。	修学旅行を通して、社会性、協調性、自主性などの自治能力を高め、いろいろな視点からの考えを深めよう。	<b>【2年(共助)】</b> 立志式を通して、いろいろな人と自分との関わりに気づき、感謝の心を持ち、将来の方向づけを探ろう。	進路学習を通して、これまでの生活を振り返り、最上級生となるための心構えを持つよう。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>【3年(公助)】</b>町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織及び防災学習を通して公助意識を高めよう。         </div>				

生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）

■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況（31名）

調査内容	よく	まあまあ	ない
災害時に、自分で自分の身を守る方法を知っていますか。	5人	26人	0人
家での日々の食事について、計画的に材料を確保したり、調理したりするなど、進んで関わろうとしていますか。	0人	24人	7人
調べた情報を、整理・分析して、表現することができますか。	3人	22人	6人
防災や減災のために、自分の行動について考えることがありますか。	4人	26人	1人

■本単元の学習に関する意識の状況（31名）

調査内容	よく	まあまあ	ない
もしもの災害を想定し、日ごろから訓練や準備をすることは必要だと思いますか。	27人	4人	0人
災害時は、自分だけでなく周囲の人と協力することが大切だと思いますか。	25人	6人	0人
自分の命や大切な人の命を守るために取り組んだ（でいる）ことはありますか。	4人	18人	9人

■考察

（資質・能力に関して）これまでのマイタイムラインを使った防災学習などから、自分の住む地域、自宅周辺のハザードマップの確認などは実施している。また、その際の「5段階の警戒レベル」に応じた自分のとるべき行動もおおむねイメージができていようである。家での食事に関しては、自分なりにできる範囲で関わろうとしている。防災や減災のための自分の行動についてほとんどの生徒が考えてはいるが、実際に取り組んだ（でいる）ことの割合は下がっている。自らの知識や行動が防災や減災につながる意識がもてるよう、自分たちで企画・実行することのよさを実感する必要がある。（学びに関して）備えの大切さを感じ、周囲との協力が大切であると感じており、具体的な行動のイメージもできていると言える。まだ自ら行動を起こしていない生徒にも、学校での体験学習や地域の人々が取り組んでいる防災対策をすることで、自らも行動する意識をもたせることが必要である。

3 指導に当たっての留意点

- 外部人材の活用の際に、本単元で育成する資質・能力等について、事前に講師と共有しておくようにする。
- 他者の発言や行動、協力や助け合いのよさに気づき、積極的に学び、実践しようとする態度を育てる。

4 学習の展開案

①防災食体験Ⅱ（共助）

- （1）目標 防災について学んだ知識と技術を仲間と協力しながら保護者や地域に発信し、災害から自分や周りの人々を守ろうとする意識を高める。
- （2）展開（2時間）本時

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<b>1 課題をつかむ。</b> ①防災食作りの目的を確認する。 ②昨年の防災食作りの振り返りから考えた、防災食作りの共同計画書の確認を行う。	○昨年の防災食作りの様子を写真を使って想起させる。 ○単元のゴールを確かめ、単元計画から本時のめあてを設定する。
	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【めあて】</b> 防災食作りを通して、災害から身を守る方法を発信しよう。                     </div> ③班ごとに共同計画書を参考に、防災食作りの注意点を確認し、作業分担を行う。 各班…生徒4人+参加者4人×9班  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【学習課題】</b>                          災害時に協力して自分たちの食の確保をするにはどうしたらよいだろうか。                     </div>	○実際に道具を確認しながら、手順を確認する。 ○参加者には、各班に分かれて生徒と一緒に活動をしてもらう。 ○活動の設定は、生徒も参加者も災害が発生し、湯浦中学校に避難をしている状況である。生徒は、避難者でありながらも、避難所スタッフの立場として食事作りを行う。参加者に協力を依頼し、協力して防災食作りを行う。

展開	50分	<p><b>2 課題の解決に向けて活動する。</b></p> <p>①班別体験活動。班の共同計画書に沿って行う。          ・道具の準備,米(ハイゼックス)          ・火起こし          ・調理          生徒が参加者に協力を依頼しながら活動を進める。</p>	<p>○数日間避難が続くことや,限られた水しか使えない状況などを想定しながら活動するようにする。※水は,各班支給されたボトルのみ。</p> <p>○共同計画書は,あくまでも計画であるため,状況や周囲の様子を見ながら,班ごとに生徒と参加者が話し合いを重ねて活動を進める。          参加者からの疑問やよりよい方法の提案もあってよい。</p> <p>○事前に作成した資料を元に,これまでの学習の気づきを発信する。タブレットで作成はするが,タブレットが使えない状況も想定し,資料(ファイル)も準備しておく。</p>
	(20分)	<p>②これまでの学習や職場体験,修学旅行で学んだ,防災の視点を班ごとに発表する。          ※米を炊く時間と同時進行で行う。          班ごとに生徒から参加者に向けてポスターセッションを行う。</p>	<p>○班ごとにまとまって食事を行う。</p> <p>○限られた水しかない状況での,食器類の使い方を班ごとに工夫し,片付けまでを見通しを持って行う。</p>
	20分	<p>③配膳,食事,片付け。</p>	<p>○共通という視点からも気づきを考えさせる。</p> <p>○参加者からも,避難者の立場から協力をした視点での感想を伝えてもらう。</p> <p>○課題点に対して,次に活かすことができるように考えさせる。</p>
	10分	<p>④今日の流れを振り返る。          うまくいかなかった点や困った点,良かった点をグループ内で出し合う。</p>	<p>○共助という視点からも気づきを考えさせる。</p> <p>○参加者からも,避難者の立場から協力をした視点での感想を伝えてもらう。</p> <p>○課題点に対して,次に活かすことができるように考えさせる。</p>
		<p><b>【期待される学びの姿】</b>          これまでの学習や防災食作りを振り返り,自分の命や身近な人の命を守るために何ができるのかを,他者の意見を取り入れながら意欲的に話し合っている。</p>	<p><b>【具体の評価規準】</b> 思③,④          ・課題の解決に必要な情報を取捨選択したり,複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えているか。          ・地域の防災につながる取組について効果的に表現しているか。          (方法:ワークシート・発言・行動観察)          評価者は,2年部職員</p>
終末		<p><b>3 学習課題に対する生徒たちの答えをまとめ,めあてに対する振り返りをする。</b></p>	<p>○めあてや課題と照らして行い,課題解決の方法や学習内容をまとめる。</p> <p>○自らの学びを記録したり,新たな問いを設定したりするなど,振り返りを具体的にを行う。</p>
	10分	<p><b>【まとめ】</b> 災害を想定し,自分の命や身近な人の命を守る,平時の備えが大切である。また,互いに協力し合うことで災害被害の軽減につながる。</p>	<p>&lt;到達していない生徒への手立て&gt;          ○友達の意見を聞いて気付いた視点について自分なりの考えを持つように促す。</p>
		<p><b>4 防災士の話を聞く。</b></p>	<p>○本時の学びの成果や課題とその要因,課題の改善方法等を専門的な視点から話していただく。</p>

【板書計画】

【めあて】

防災食作りを通して、災害から身を守る方法を発信しよう。

学習課題

災害時に協力して自分たちの食の確保をするにはどうしたらよいだろうか。

【設定】

昨夜、土砂崩れが発生し、道路が寸断、断水が続いている。避難所では、本日の昼食を校内にある限られた備蓄のみでまかなうことになった。

今日の流れ

班別体験学習

- ①道具の準備,米(ハイゼックス),火起こし
- ②調理
- ③防災学習の発表
- ④配膳,食事
- ⑤片付け

【まとめ】

災害を想定し、自分の命や身近な人の命を守る、平時の備えが大切である。また、互いに協力し合うことで災害被害の軽減につながる。

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

- タブレットを活用し、これまでの防災学習から発信したい内容に合った写真を示す。
- 活動の様子をタブレットに撮影し、学習の最後の振り返りの際に活用する。

【事前ワークシート】

防災食作り 共同計画書

2年1組 ( )班 名前( )

事前準備

- ①米(1人につき1合程度を生徒が持参) ②缶詰(カレー) ③薪(学校にある廃材等を利用)
- ④ハイゼックス(米を炊く袋) ⑤鍋 ⑥火ばさみ
- ⑦その他考えられるもの \_\_\_\_\_

防災食作り タイムスケジュール 分担表

時間	作業内容	避難所スタッフの立場	協力を依頼すること
: ~ :			

②防災食体験Ⅱ（共助）の振り返り

(1) 目標 防災について学んだ知識と技術を仲間と協力しながら保護者や地域に発信し、災害から自分や周りの人々を守ろうとする意識を高める。

(2) 展開（1時間） 9時間目

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p><b>1 課題をつかむ。</b>                      ①前回の授業の様子を振り返る。                      ②防災士からの話の内容を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【めあて】</b> 災害時に自分たちが地域のためにできることを考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【学習課題】</b>                      防災食作りを通して気付いた, 災害時に必要な心構えはなんだろうか。</p> </div>	<p>○当日の写真を使って前時の学習を想起させる。</p>
展開	10分 10分 10分	<p><b>2 課題の解決に向けて活動する。</b>                      前時, 各班でまとめた, うまくいかなかった点や困った点, 良かった点を再確認し, 他にも気づきがないか考える。</p> <p>(1)前時の学習をもとに個人で考える。                      (2)(1)で出た意見をグループで出し合う。                      (3)グループの意見を全体で共有する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【期待される学びの姿】</b>                      今までの学習を振り返り, 災害時に自分たちができることについて, 他者の意見を取り入れながら, 意欲的に話し合っている。</p> </div>	<p>○自分たちだけで行った際との比較や, その後の片付け, 帰ってからの疲労感など, 避難が数日続くことも視野に入れて, 数日経った気持ちで振り返る。</p> <p>○共助という視点からも気づきを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【具体的評価規準】</b> 態③                      地域の防災のために自分たちにできることを企画し, 実行することを通して, 積極的に社会に参画しようとしているか。                      (方法: ワークシート・発言・行動観察)</p> </div> <p>&lt;到達していない生徒への手立て&gt;                      ○友達の意見を聞いて気付いた視点について自分なりの考えを持つように促す。</p>
終末	15分	<p><b>3 学習課題に対する生徒たちの考えをまとめ, めあてに対する振り返りをする。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【まとめ】</b>                      自分の家族や近隣住民, 地域やコミュニティの仲間などが互いに協力することは, 災害時に命を守ることにつながる。共助の精神や取組は, 自助だけではやれない部分を補うもので, 優しい社会作りにつながる。</p> </div>	<p>○昨年から本時までの学習を振り返り, 自助・共助の視点から自分の考えの深まりを感じられるように, これまでの学習内容を写真や生徒の感想を提示する。</p> <p>○自らの学びを記録に残し, 次年度の公助の視点につなげる。</p>